

目標数値の設定のあり方について

■ 定量的な目標指標の設定（内閣府地方創生推進事務局 認定申請マニュアルより抜粋）

目標の達成状況を的確に把握できるように、定量的な指標（目標指標）を設定してください。

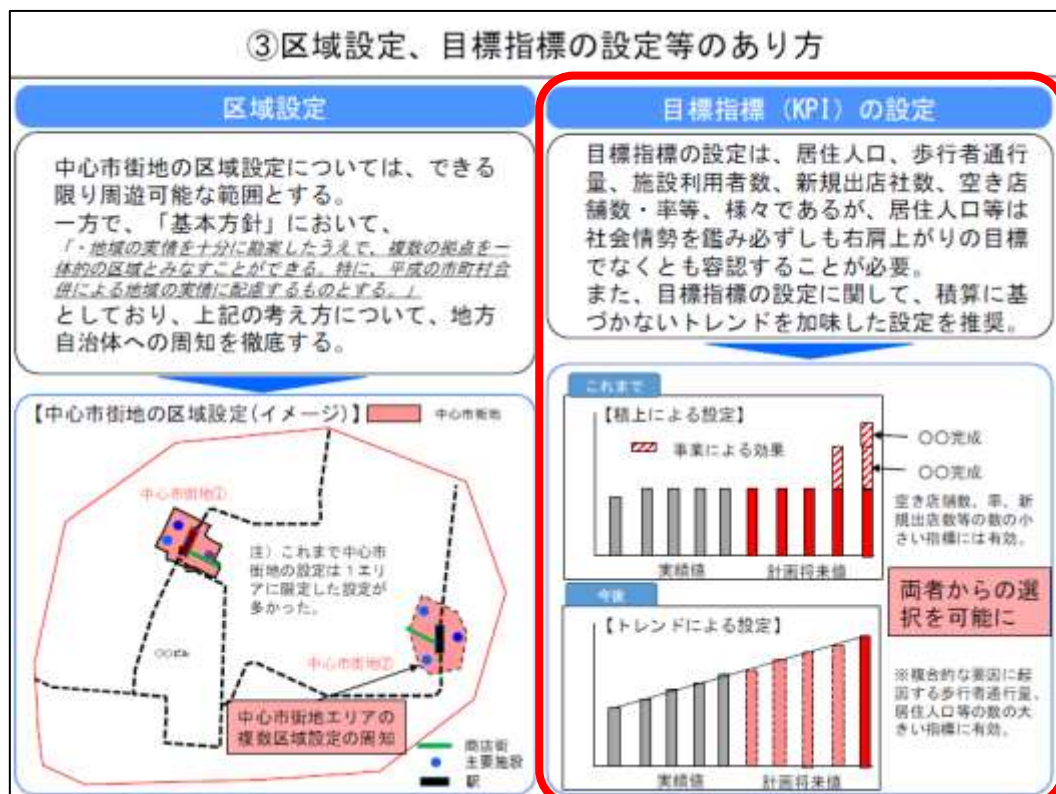
その際、絶対値の改善はもちろんのこと、一定地域内でのシェアの改善や過去の傾向と比較した変化率の改善等を採用することも考えられます。このほか、社会情勢を鑑み、数値の改善のみにとらわれず、現状の数値の維持や、現状の数値の悪化率の抑制（人口減少率の抑制など）に主眼を置いた目標設定も考えられます。

■ 目標値の設定（内閣府地方創生推進事務局 認定申請マニュアルより抜粋）

基本計画の事業等の実施が全体として中心市街地の活性化の実現に寄与するものであり、各事業等の効果との整合性を踏まえながら、目標値を合理的な手法で算定してください。

なお、合理的な手法の例として、各事業効果値の積み上げによる設定方式と、トレンド等による積み上げに基づかない設定方式が考えられます。

積み上げによる設定方式は、空き店舗数や空き店舗率、新規出店数等といった比較的数値の小さい指標に有効と考えられ、また、積み上げに基づかない設定方式は複合的な要因に起因する歩行者通行量、居住人口、公共公益施設利用者数等といった比較的数値の大きい指標に有効と考えられます。



第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画における目標値の設定方法（案）

基本方針① 多世代が交流する、便利で住みよいまちづくり

目標指標①：中心市街地における居住人口の社会増減数

→ トレンドによる設定

目標指標②【参考指標】：中心市街地の45歳未満居住人口

→ トレンドによる設定

基本方針② 回遊したくなるまちなかの魅力づくり

目標指標③：中心市街地の歩行者等通行量

→ トレンドによる設定

目標指標④：空き店舗等を活用した新規出店数

→ 各事業効果値の積み上げによる設定

基本方針③ 伊賀の強みを誇りとして継承するまちづくり

目標指標⑤：伊賀の歴史的資源等を活かした施設の利用者数

→ トレンド + 新規事業効果値の積み上げによる設定